

研究課題番号	4RF-2101
研究課題名	オガサワラシジミの再生を目指した凍結卵巣移植法の研究
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	奈良教育大学
研究代表者名	小長谷 達郎

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

絶滅種のオガサワラシジミの復活を目指したたいへん挑戦的なプロジェクトであると評価できる。希少種保護の観点から汎用性の高い知見を提供しており、価値のある研究と認められる。カイコの卵巣凍結保存技術がチョウ類にも適用可能であり、異種間の移植でも成熟卵が得られることなどを実証した成果は、この技術を絶滅危惧チョウ類の生息域外保全に導入する道を開いたという点で評価できる。得られた成果を査読誌に英文学術論文としてきちんと公表していただきたい。今後、オガサワラシジミへ適用するうえでの課題は少なくないと思われるが、脱絶滅への道筋がつくことを期待している。